

2021年度

**愛媛銀行
経営説明**

～コロナ禍における銀行の使命～

社会的機能の維持に必要不可欠な金融インフラとして

- 地域経済の下支え
- 事業継続に必要な資金繰り支援・再生支援 など

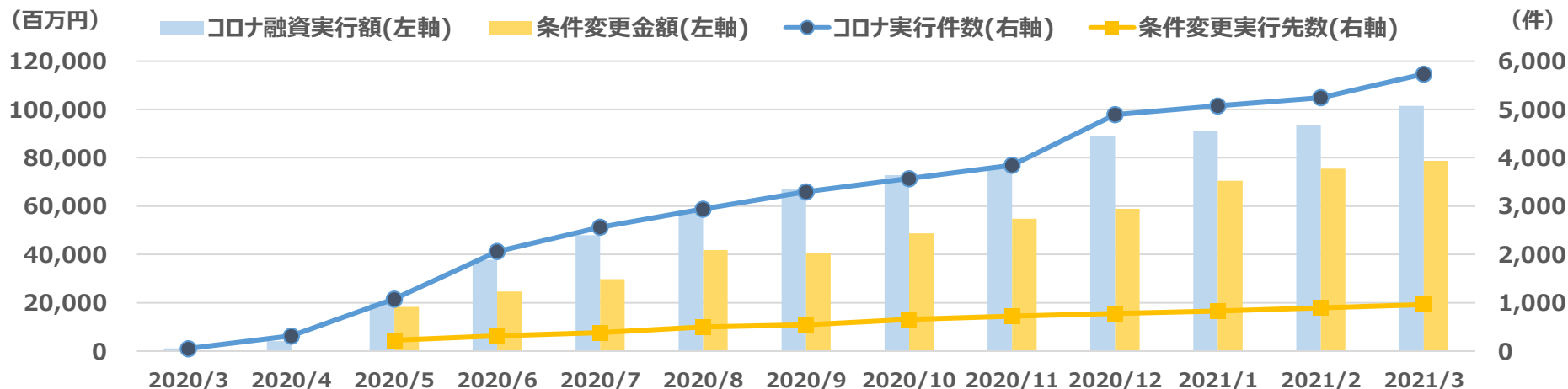
【コロナ融資の取扱い実績】

2020年度累計

コロナ融資実行件数 5,734件

コロナ融資実行額 1,015億円

新型コロナウイルス関連事業の実行融資額と実行件数の推移（累計）



【サポート体制の充実】

7
月

「新型コロナ金融支援チーム」新設

8
月

「経営サポート室」新設

10
月

「債権管理再生チーム」新設

12
月

「にしせと地域共創債権回収(株)」設立
(山口フィナンシャルグループとの共同設立)

【プロパー商品・制度融資の取扱い】

無利子無担保融資
(国・愛媛県)の取扱い

既存債務の返済条件緩和

資本性ローンの取扱い

新型コロナ対策支援ファンド設立

目次

第1章 2020年度の決算概要

第2章 長期ビジョンと中期経営計画

第3章 これからの新たな取組

第4章 ESG/SDGsの取組

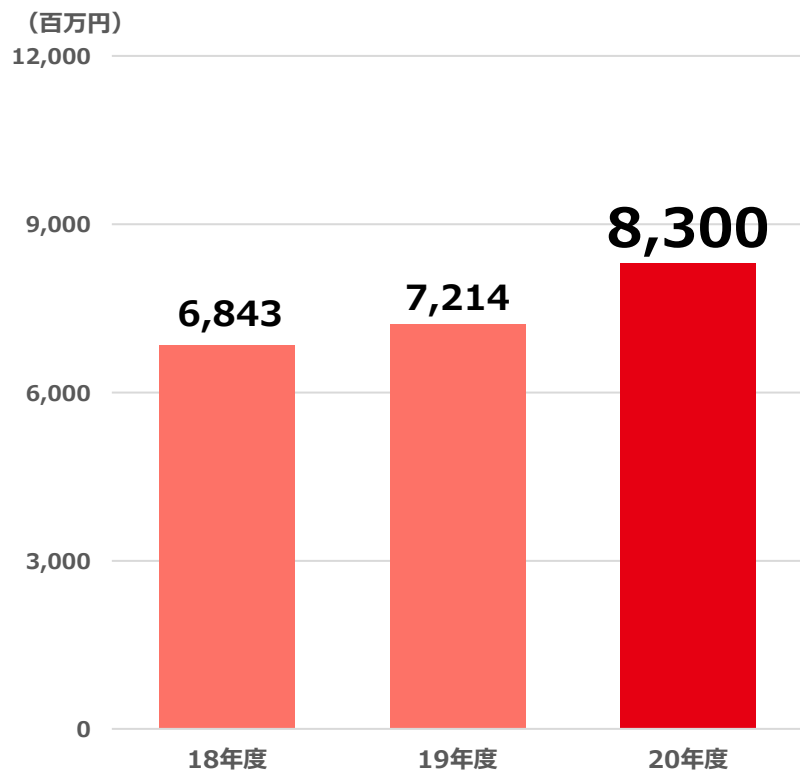
第 1 章

2020年度の決算概要

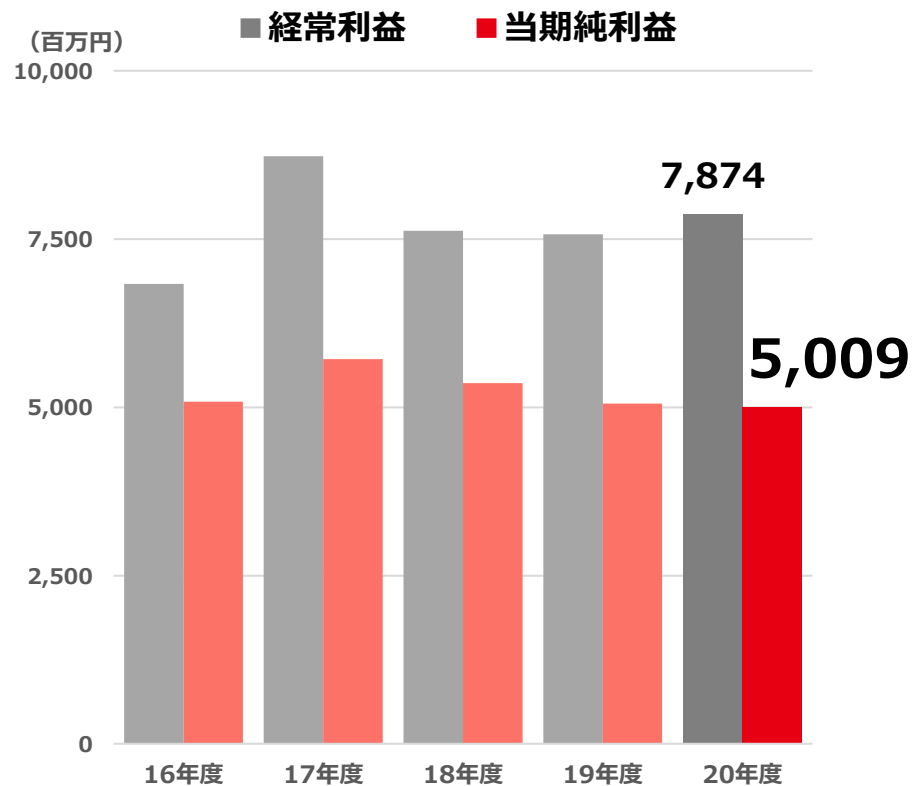
利益の状況

- 4期連続の増収となり、コア業務純益は前年比+10億円の83億円となった。
- 当期純利益は、7期連続して50億円超を確保。厳しい経営環境の中、安定した収益力を維持。

コア業務純益の推移



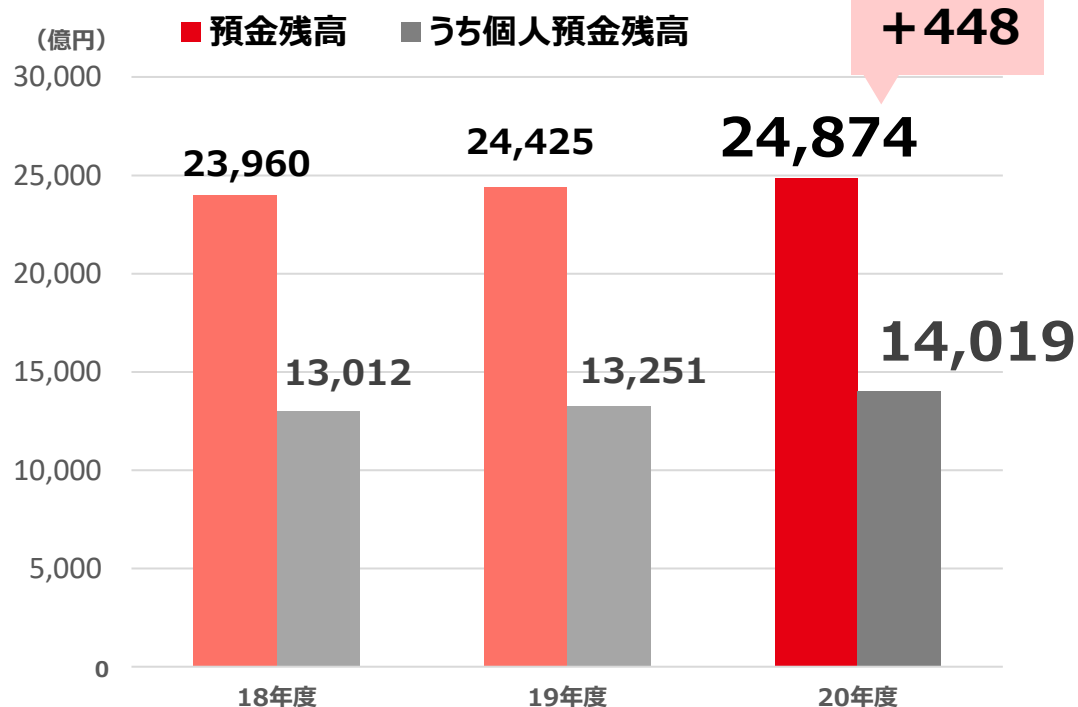
経常利益・当期純利益の推移



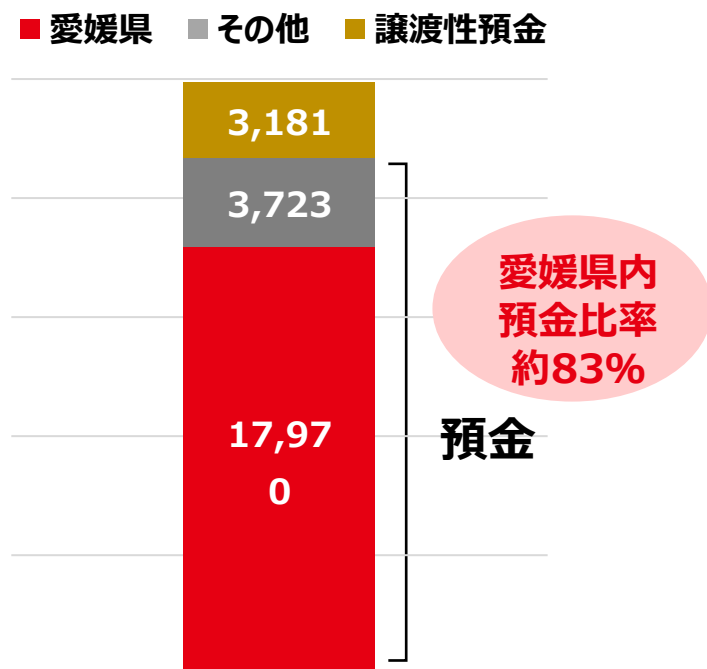
預金・譲渡性預金の状況

- 預金・譲渡性預金（未残）は、コロナ特別定額給付金等により、個人預金が大幅に増加。（前年比+448億円）
- 愛媛県内における調達比率は約83%。（譲渡性預金除く）

預金残高の推移



地域別 預金残高

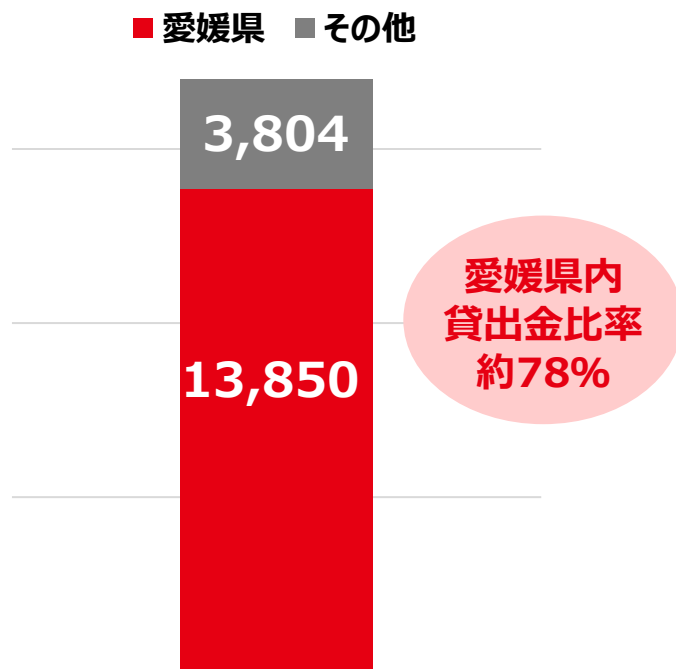
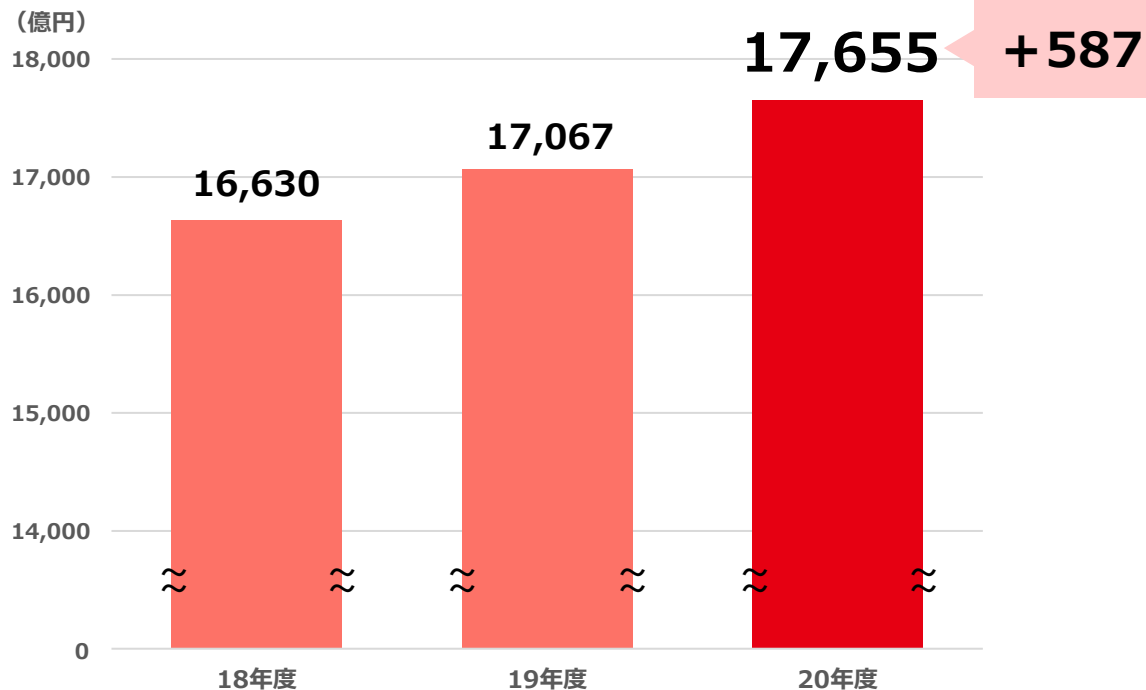


貸出金の状況

- 貸出金（末残）は、コロナ禍により運転資金の需要が高まったことで、事業性貸出を中心に増加。（前年比+587億円）
- 愛媛県内における貸出比率は約78%。

貸出金残高の推移

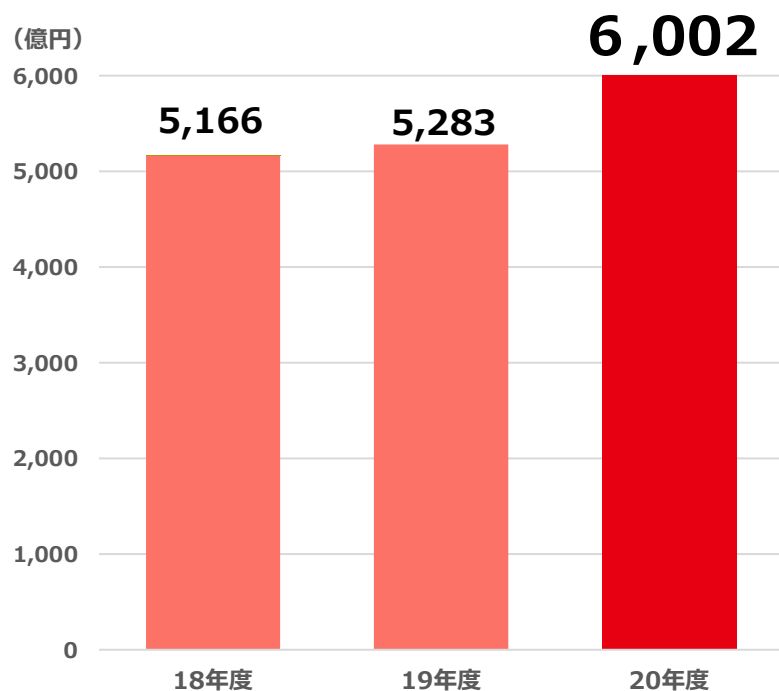
地域別 貸出金残高



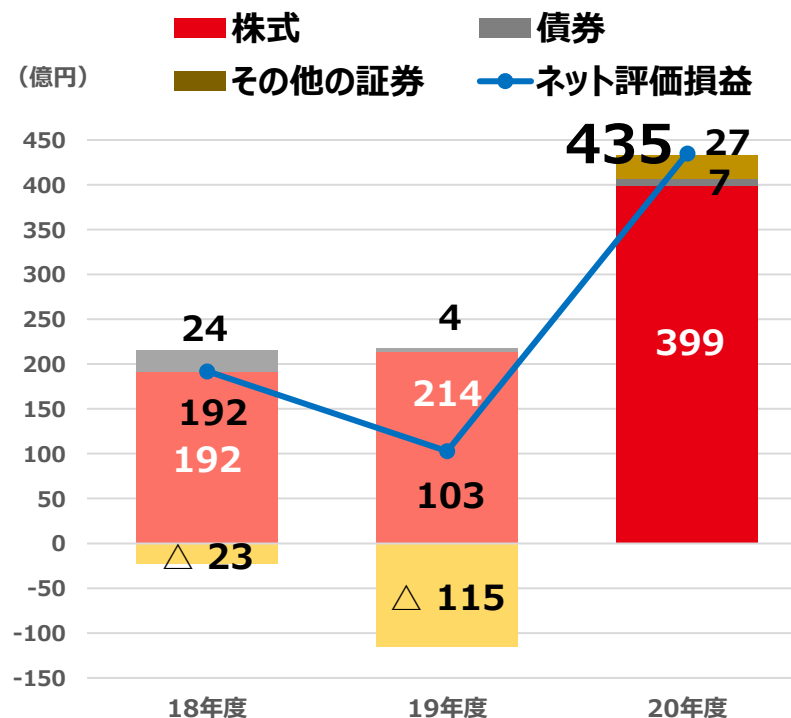
有価証券の状況

- 有価証券評価損益は、好調な株式市場を反映し、前年比332億円と大幅な増加。
- 有価証券ポートフォリオは、外国債券へのシフト等、運用の多様化を継続。

有価証券残高の推移



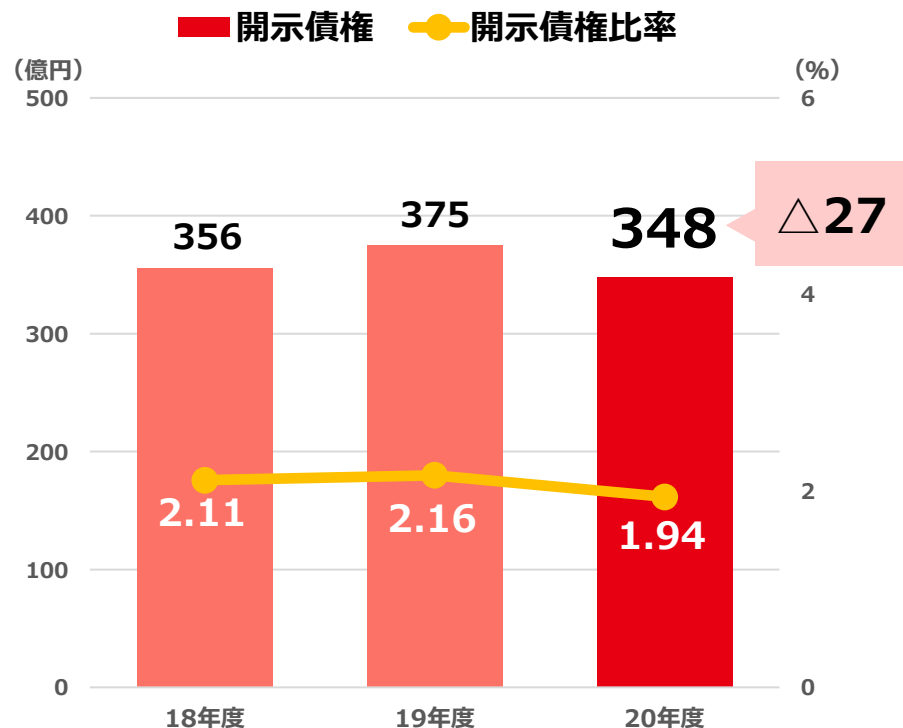
有価証券評価損益の推移 (その他有価証券)



開示債権・信用コストの状況

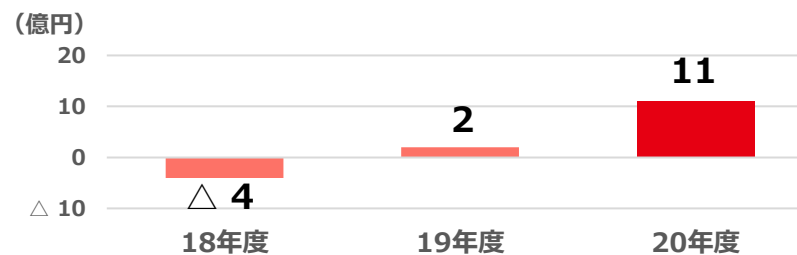
- 開示債権については、要管理債権を中心に減少。
- 信用コストについては、貸出金の償却や予防的な引当を実施したことにより増加。

開示債権の推移

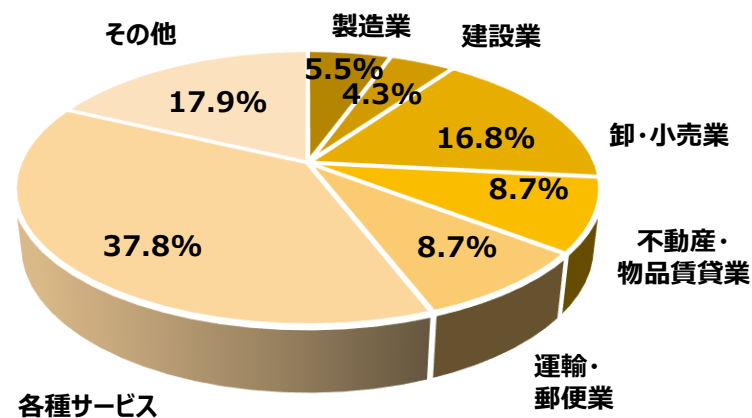


※開示債権の残高については、単位未満を四捨五入して表示している。

信用コストの推移



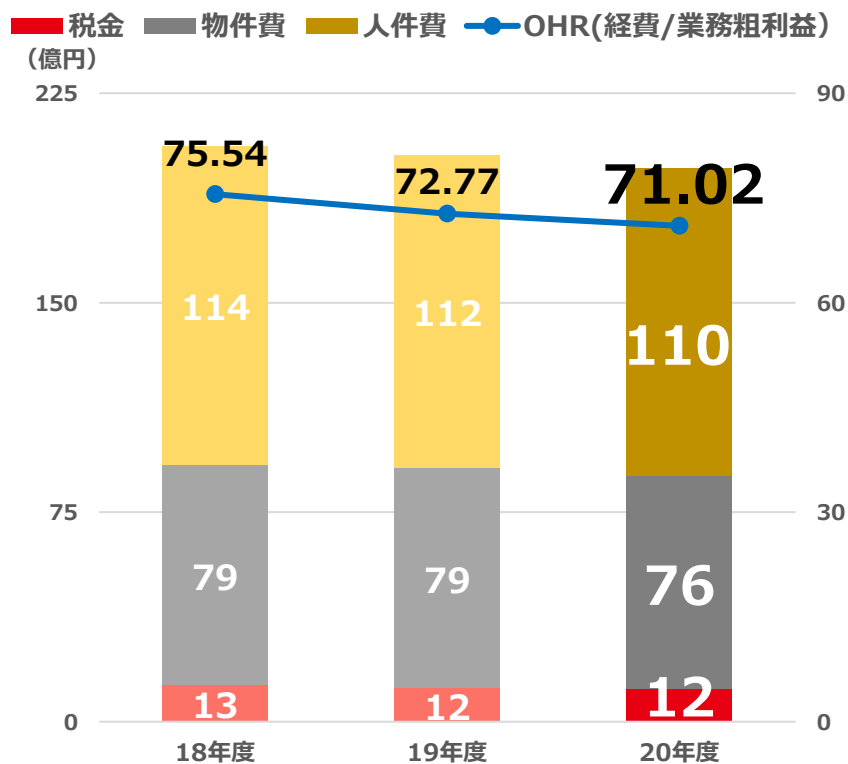
業種別リスク管理債権の内訳 (20年度)



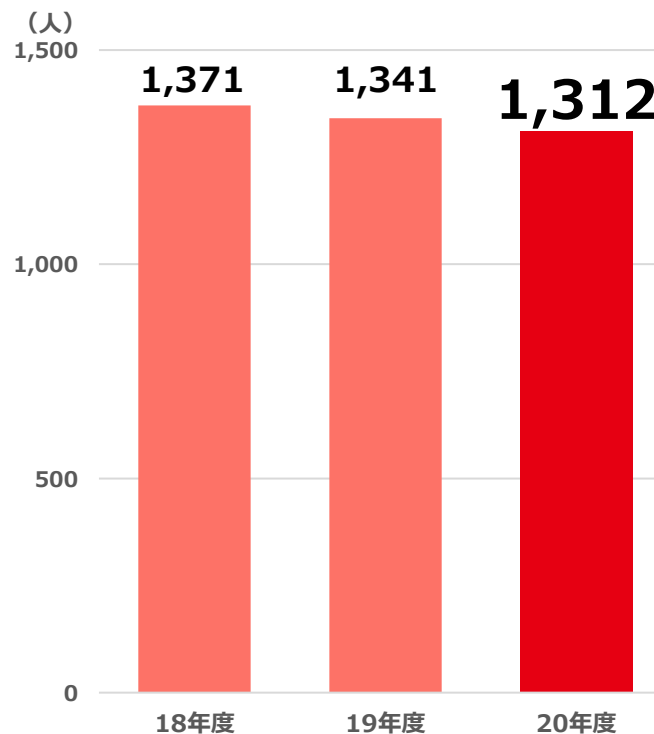
経費の状況

- 経費は物件費抑制や生産性向上による人件費低減により大幅に減少。
- 業務効率化により、更なる生産性向上を目指す。

経費とOHRの推移



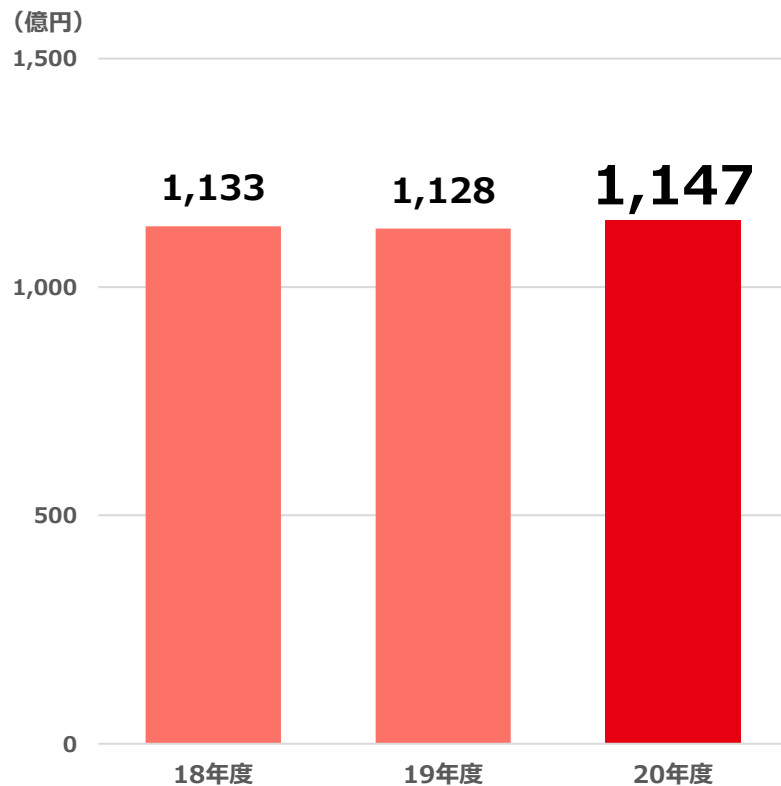
従業員数の推移（臨時従業員及び嘱託を除く）



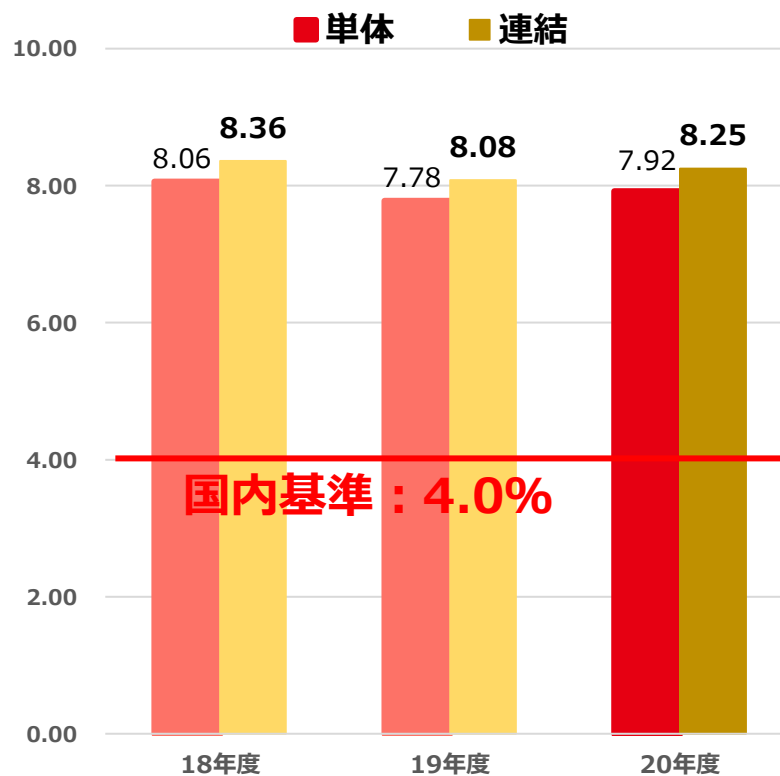
自己資本の状況

- 自己資本額は安定した利益計上により順調に増加し、自己資本比率は上昇。
- 適切なリスク管理による業容拡大により、内部留保の蓄積スピードを上げ、資本の質を改善していく。

自己資本額の推移



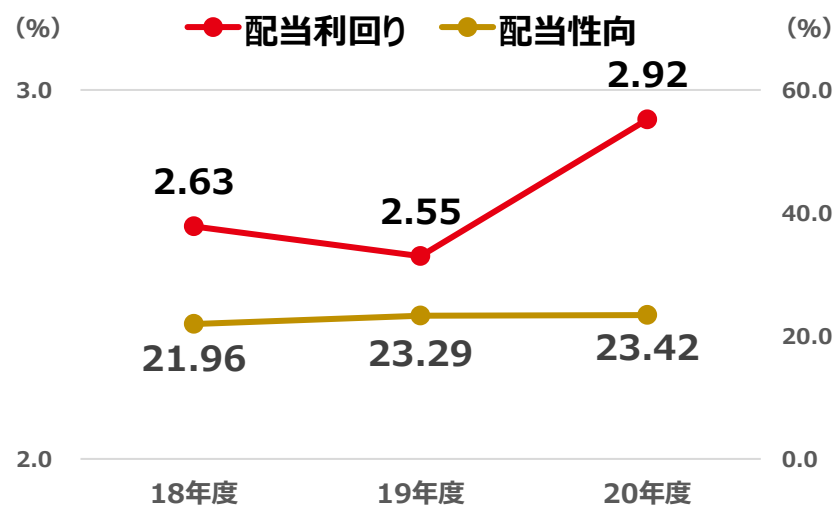
自己資本比率の推移



配当政策とROEの状況

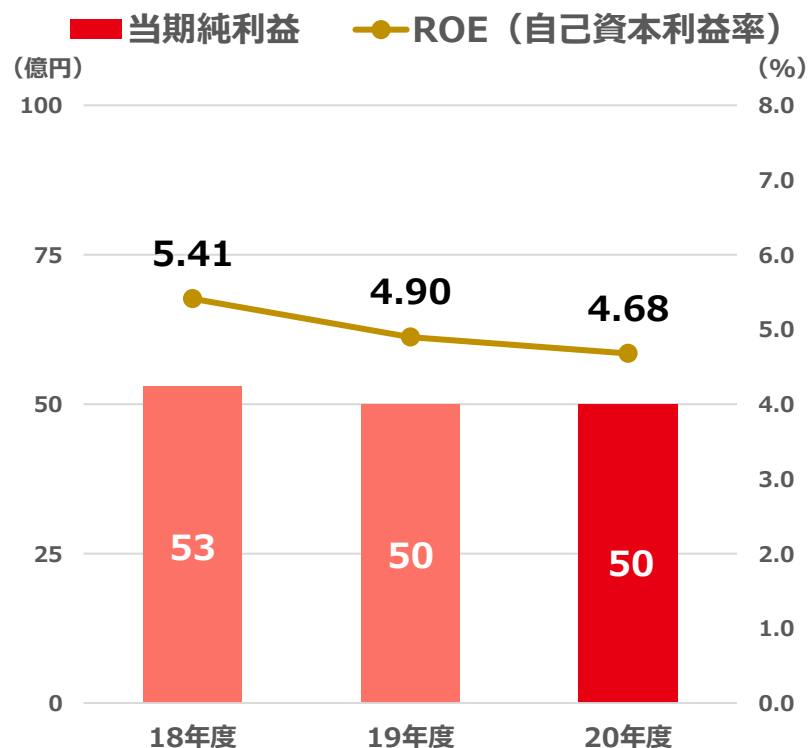
- 毎期30円の安定配当を実施。
- ROE(自己資本利益率)は、純資産・株主資本の増加に伴い低下。

配当利回りと配当性向



	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度 (予想)
配当金	30円	30円	30円	30円

ROEの推移



第 2 章

長期ビジョンと中期経営計画

長期ビジョンと中期経営計画

成長戦略

お客さまに寄り添いながら、新連携等による金融プラス1戦略の広域展開等により、当行独自のプラットフォームを形成し、地域価値の共創を実現する。

<目指す姿>

地域価値共創型
広域プラットフォーム銀行

第17次中期経営計画

(2021～2023年度)

変革への挑戦 2nd stage

～地域再起動のプラットフォームへ～

地域戦略

広域戦略

グループ総合戦略

3rd
STEP

第16次中期経営計画

(2018～2020年度)

変革への挑戦～すべてはお客さまのために～

収益構造
改革

お客さま本位
の業務改革

役職員の
行動改革

2nd
STEP

1st
STEP

2018

第16次中期経営計画

2021

第17次中期経営計画

2024

第18次中期経営計画

2027

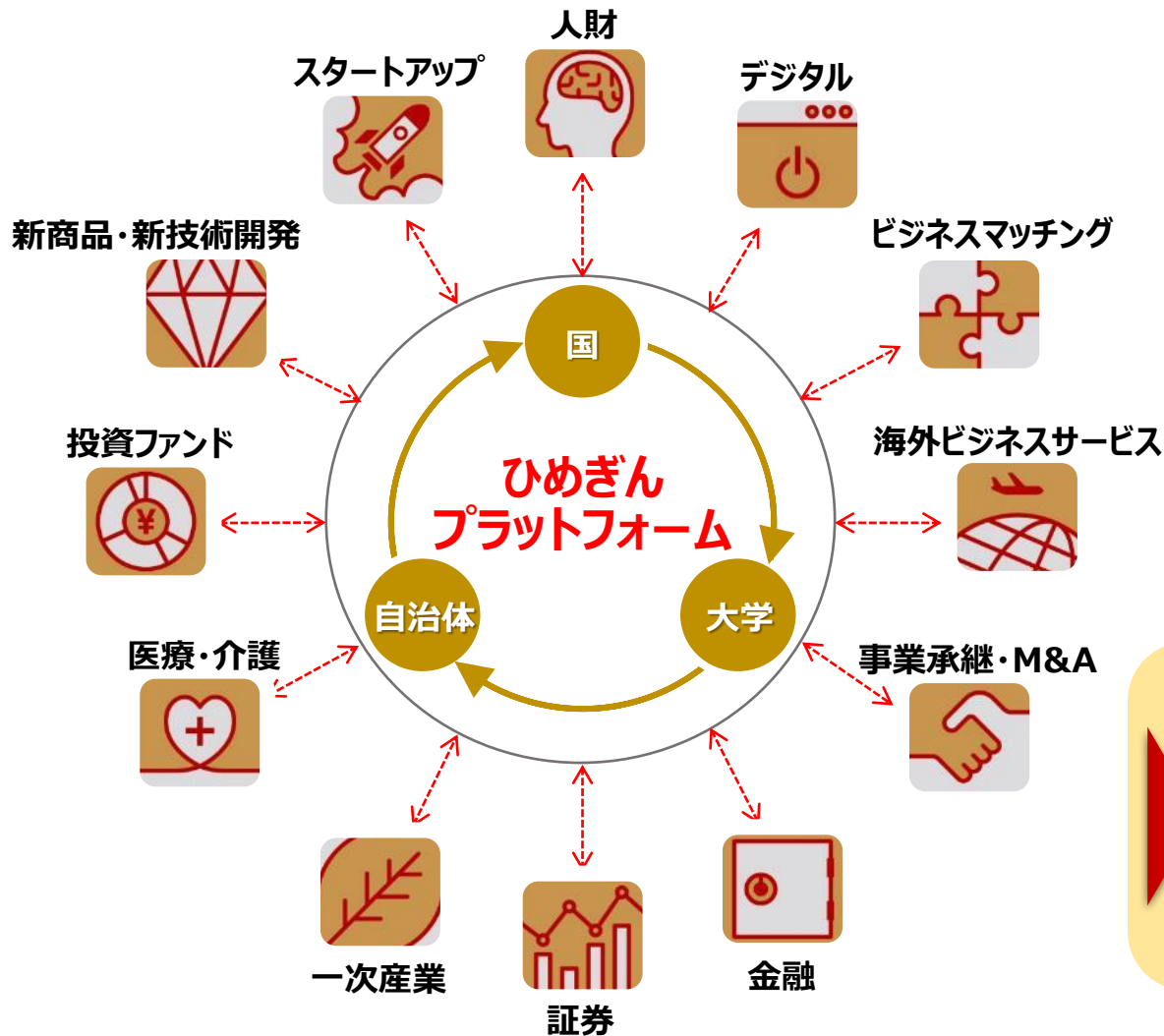
第17次中期経営計画の概要



名称	第17次 中期経営計画 「変革への挑戦 2nd stage」 ～地域再起動のプラットフォームへ～
経営理念	<ol style="list-style-type: none">1. ふるさとの発展に役立つ銀行 (Mission)2. たくましく発展する銀行 (Vision)3. 働きがいのある銀行 (Value)
基本方針	<ol style="list-style-type: none">1. 「金融プラス1戦略」の推進 新連携や事業領域拡大等の取組みにより収益を極大化する2. 効率経営の実践 リスクセツコントロールによる自己資本比率改善、コスト削減によるO H R改善等により、様々な環境変化に対する適応力を高める3. 強固な経営基盤の確立 コンプライアンスおよびリスク管理を徹底し、コーポレートガバナンス、サイバーセキュリティ、マネー・ロンダリング等への対応を一層強化する

新連携による金融プラス1戦略 ①

ひめぎんプラットフォームのさらなる拡充



当行が

地域再起動の
プラットフォーム

となり、

新連携による
金融プラス1戦略

を通じて、

お客さまに

存在価値の高い
新たなソリューション

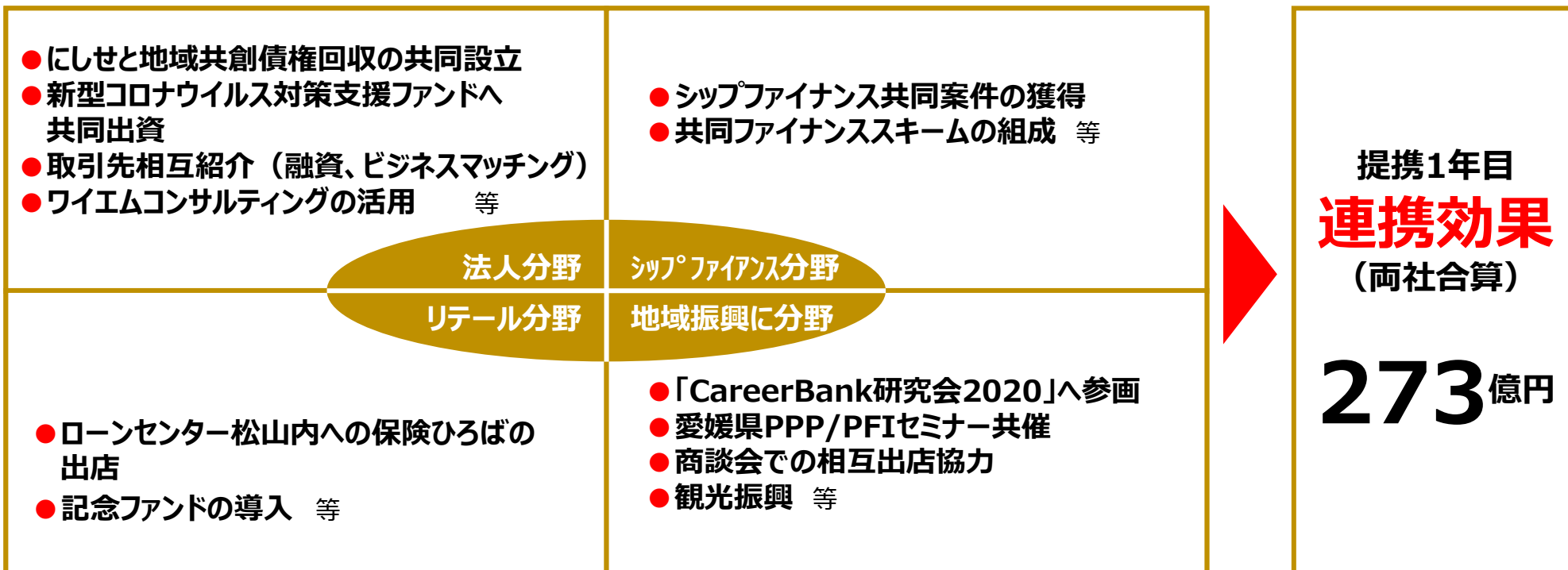
を提供。

県内総生産全国シェア1%確保
(2017年度0.92%→1.00%)
実質経済成長率 > 全国平均
1人当たり県民所得 > 全国平均



連携1年目（2020年度）の成果

～ 4つの分野で共同施策を実施～



窓口取引デジタル化 / デジタルサイネージ広告

～ QRコードによる国内初の新サービス～

QRコードを登録していれば…

- 顔認証で印鑑レス取引を実現
- タブレット入力で伝票不要に

【ご利用いただけるお取引】

1. 普通預金（口座開設、解約、入出金）
2. 定期性預金申込み
（定期預金・積立定期預金・定期積金）
3. キャッシュカード発行
4. 諸届（住所・氏名等の変更届、喪失届）

～お取引企業の広告をデジタル放映～

愛媛銀行 × テレビ愛媛

- 企業規模にかかわらず利用可能

【実績（2021年6月16日現在）】
申込み15件、うち7件放映中

▼全営業店ロビーのデジタルサイネージを広告ツールとして利用



さらに簡単・便利にご利用いただけるように…

～ひめぎんアプリ 機能追加～

2021年2月15日より

【
新
機
能
】

- 口座間の振替
- アプリカードローン
- ひめぎん通帳レス口座切替申込
- 住宅ローン一部繰上返済申込予約
- ひめぎんポイント倶楽部照会
- 住所変更申込 など盛りだくさん



アプリアイコン



～ひめぎんWEB住宅ローン～

2020年8月11日 取扱開始

- 住宅ローンAI審査
⇒より精緻な審査が可能に
- 融資クラウドプラットフォーム
⇒融資の受付から契約までを電子化・自動化

自宅にしながら
24時間365日
いつでも
お申込み可能

WEBだけの
特別な金利

ご契約の
収入印紙が
不要

Webプラットフォームを活用したマッチング支援

～2020年10月27日 運用開始～

経営幹部や後継者等の不足が深刻な経営課題となっている
お客さまに対し、課題解決に向けた提案力の強化を図る

副業人材マッチングプラットフォーム
『Skill Shift』による
副業人材活用

副業人材
を求める
地元企業



副収入
を得たい
個人

地域貢献副業プロジェクト



地方転職プラットフォーム
『Glocal Mission Jobs』による
管理職・経営幹部人材紹介

各地域の求人企業

【Glocal Mission Jobs】

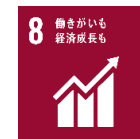
- 地方企業の幹部候補等の求人情報
- 各地域の魅力や生活情報

情報公開

地方への転職希望者

求人管理会社を通じて紹介

投資ファンド：多様なファンドへの取組み



2021年3月末現在の主な運営ファンド



2ファンド協調で追加投資
株式会社 HIROTSU バイオサイエンス



線虫を使ったがん検査サービスを提供（早期がんも高い精度で判定）

【投資先】No.9
株式会社 セツロテック



ゲノム編集受託サービスを行う徳島大学発のベンチャー企業

【投資先】No.1
株式会社 グリーンボックス



ゴルフ場を活用した林業やイベント企画など、地域に根差した事業展開

【投資先】No.2
株式会社 ブルーレモンファーム



岩城島特産のレモン等を生産・加工・販売する、地域農業の振興を図る中心的存在

第 3 章

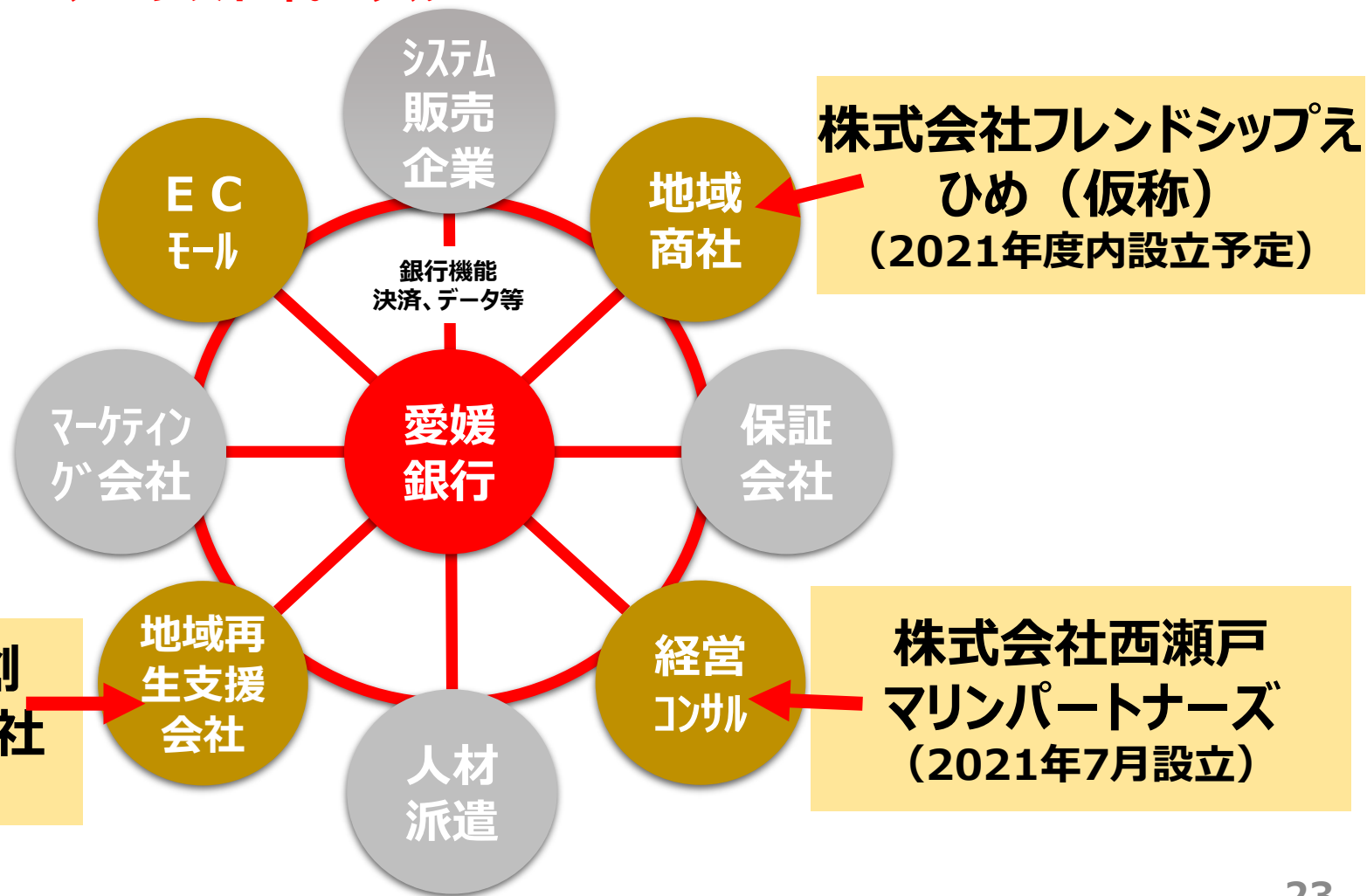
これからの新たな取組み

新連携による金融プラス1戦略 ②



銀行の業務範囲拡大を踏まえた事業領域拡大

～ 地域プラットフォームの次世代モデル ～



 愛媛銀行 ×  セキ株式会社 × 南海放送

3社共同による地域商社事業の立ち上げ

株式会社フレンドシップえひめ（仮称）
（2021年度内設立予定）

【目的】

愛媛県のような地域資源の魅力や価値を再発見し、磨き上げ、多くの人々に届けることにより、県内事業者の収益機会を拡大し、地域経済を活性化させる

【主な取組み事項】

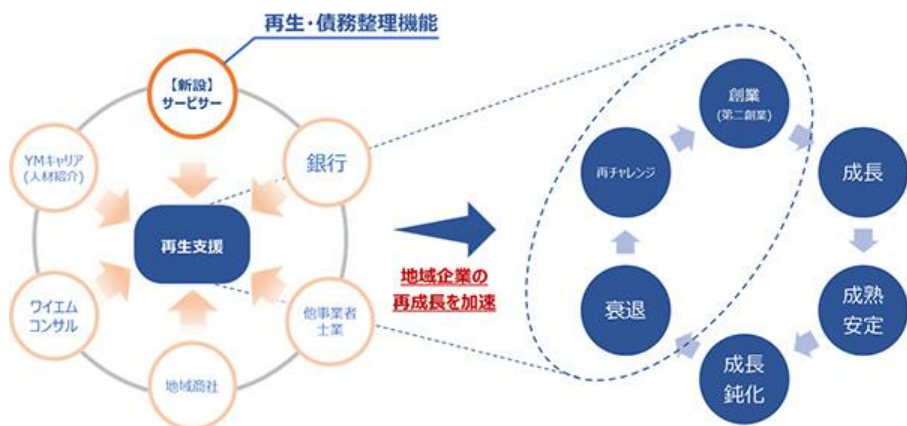
- 新規ビジネスのコンサルティング、アドバイス
- 愛媛県内生産者や県産品の情報発信、マーケティング支援
- 愛媛県産品の新商品開発、国内外への販売
- 就農、就漁、地場産業や伝統工芸などの担い手支援 等



共同施策が、順次具現化

**地域事業者再生支援強化に向けた
債権回収会社を設立**
(設立：2020年12月)

にしせと地域共創債権回収株式会社



**海事産業の発展に向けた
共同事業会社を設立**
(設立：2021年7月)

株式会社西瀬戸マリンパートナーズ

【業務1】 シップファイナンス業務の高度化支援

- ① シップファイナンス分野におけるDXを推進する業務
- ② シップファイナンス人材を育成する業務
- ③ 産業調査業務
- ④ その他シップファイナンス業務高度化に資する業務

【業務2】 海事産業事業者の交流促進

- ① 情報発信サービスを提供する業務
- ② 交流会等の海事イベント運営支援業務

第4章

ESG/SDGsの取組

愛媛銀行の基本的なスタンス

「ふるさと銀行」

地域金融機関の責務として、ふるさとの発展に貢献する

地方創生活動の方針

「愛媛銀行SDGs宣言」



金融サービスやすべてのステークホルダーとの対話・連携を通じて、
地域の共通価値創造、社会的課題の解決を目指す

地域におけるSDGsの普及啓発および取組み促進を図る

～2020年11月9日より～

「SDGs経営立ち上げ支援サービス」の概要

● SDGs取組み状況の診断

当行オリジナルのチェックシートを用いて、お客さまのSDGsへの取組み状況を診断

● 診断結果のフィードバック

診断結果レポートを通じてフィードバック

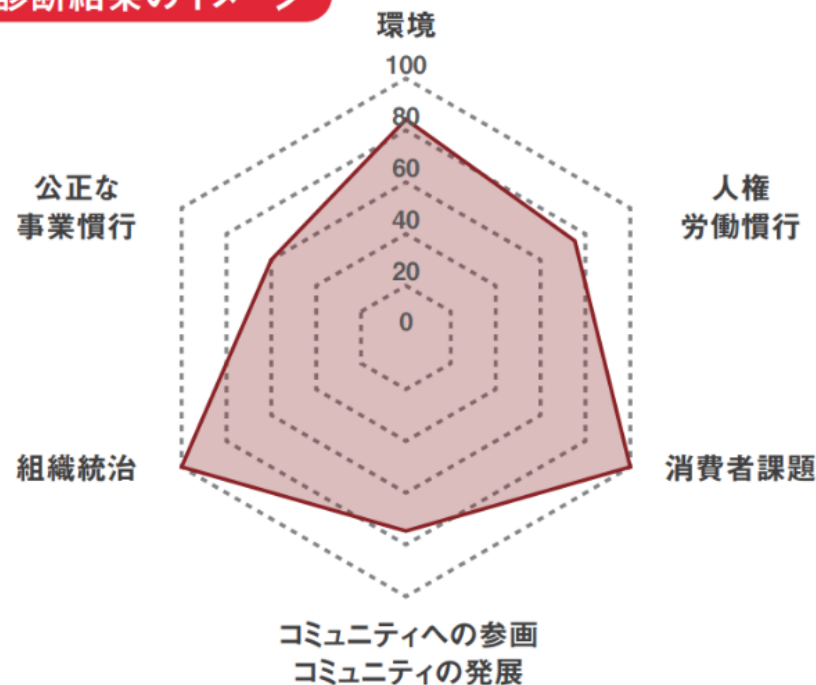
● お客さま独自の「SDGs宣言」策定に向けた支援

診断結果やお客さまとの面談結果から、お客さま独自の「SDGs宣言」の策定をお手伝い

● 対外PR支援

当行ホームページ等を通じて、お客さまがSDGs宣言された旨をニュースリリース など

▼ 診断結果のイメージ



ISO26000をベースに、6分野で診断します。

ESG金融の高度化を通じた地域の持続性の向上

～「ESG地域金融促進事業」の採択～

アプローチ1 アプローチ2 アプローチ3

養殖漁業に対するESG要素を考慮した事業性評価の導入及び
モデル構築事業

-事例11- 愛媛銀行

案件
名称

養殖漁業に対するESG要素を考慮した事業性評価の
導入及びモデル構築事業

概要

- 愛媛県南予エリアは、豊富な自然資源を活用した一次産業が代表的な産業として発展してきた中、海面養殖業は、長らく産出額で全国一位を維持し続けており、愛媛県の地域資源を活かした全国に誇れる産業である。
- 本事業では、海面養殖業を営む(株)タイチをモデルに、ESG要素を考慮した事業性評価及びそれに基づく助言や必要な支援を実施した。また、本支援モデルをもとに他地域・他業種への横展開を検討した。
- (株)タイチは、持続可能性に配慮した餌の開発や飼養を実施しており、環境関連の認証も取得している。生産された鯛は「鯛一郎くん」としてブランド化され流通している。

取組のきっかけ

【個人的なノウハウの標準化】

- 当行の事業性評価における、各業種固有の特性および地域特性の深堀は、担当者の個別対応に依るところが大きく、行内における知見の蓄積やノウハウの標準化が求められていた。

【海面養殖業が直面する課題】

- 海面養殖業は、近年、担い手不足等を要因とする経営体数、生産量、産出額の減少、温暖化による海水温上昇リスク、抗生物質耐性リスク、コロナ禍による出荷量の減少・魚価の下落など環境・社会・経済の側面からさまざまな課題に直面していた。



当行のモデルは、ESG金融の実践事例として、「ESG地域金融実践ガイド2.0」（環境省）に掲載

「ESG地域金融促進事業」とは...

環境省が、環境・社会にインパクトがあり、地域の持続性の向上や地域循環共生圏の創出に資するESG金融の促進を図るべく、金融機関とともに実践事例の積み上げ、高度化を目指す事業。2020年度、11行が採択。

「働きがいのある銀行」に向けた取組み

働きがいのある環境づくりと行員育成を推進

～地域社会の持続的な発展に貢献していくために～

目的別に女性タスクチームを
行内に立ち上げ (2020年12月～)



「ひめのわ～地域活性プラスワン～」

【第一弾チーム企画】

- ・コロナ禍の飲食業支援
- ・地域のにぎわい創出



行員の健康管理を経営的な
視点で考え戦略的に実践



「健康経営優良法人2021」認定



2021
健康経営優良法人
Health and productivity

年間を通じ優秀成績、スポーツ賞受賞

【女子陸上部の最近の主な成績】

- 2020年9月18～20日 「第68回全日本実業団対抗陸上競技選手権大会」3000mSC（障害） **優勝！**
- 2020年12月4日 「第104回日本陸上競技選手権大会」3000mSC 4位
- 2021年4月26日 「第69回兵庫リレーカーニバル」2000mSC **優勝！**
- 2021年4月29日 「第55回織田幹雄記念国際陸上競技大会」3000mSC 2位
- 2021年5月 9日 「READY STEADY TOKYO」3000mSC 2位（日本人1位、日本歴代4位）



◀ 2016年4月に創部



2021年4月現在 ▶
8名が所属

1年間に優秀な成績を収めた愛媛の選手をたたえる賞

「第48回愛媛新聞スポーツ賞」を受賞

するなど、愛媛県内を代表するチームに成長（2021年1月5日）

日本卓球リーグで活躍する卓球部をはじめ、
多数の運動部が活動

➡ 地域のスポーツ振興へ

ご視聴
ありがとうございました

